

2022 年度決算・2023 年度予算について

財務委員長 山口 知子

2023 年 11 月 12 日に京都ブライトンホテルにおいて第 30 回定時総会が開催され、2022 年度決算と 2023 年度予算について審議の上ご承認をいただきました。ここにその概要をご説明します。

(1) 2022 年度収支決算

今年度はイベントが対面にて開催され、活気が戻りつつある年となりました。その結果経費が増額し、昨年度の支出額が約 1,097 万円、今年度の支出額が約 1,333 万円となり、約 236 万円の増加となりましたが、予算との執行割合は 87.6%であり、支出抑制が出来た結果となりました。

次に次年度繰越金が昨年度の約 953 万円から今年度は約 1,049 万円となり、約 96 万円増加しました。しかし 2022 年度消費収支決算書前年度対比によると、今年度の経常損益は約 84 万円の黒字、昨年度は 424 万円の黒字で利益幅は 340 万円減少しています。入会金・終身会費収入の減少、昨年度までのコロナ禍によるイベント中止からのリバウンドによる支出の増加によるものです。

(2) 2022 年度特別会計決算

事業費支出として、国際留学奨励金をスイス・チューリッヒ大学に留学された学生 2 名に 30 万円、政法会奨学金を 1 名に 10 万円を支給しました。また特別会計予算は、2023 年 9 月 30 日までの継続予算としていましたが、30 周年記念事業募金の開始が 2024 年の 10 月からとなりましたので、20 周年の特別会計は 2024 年 9 月 30 日までの継続予算に変更することとしました。

(3) 2023 年度収支予算

収入の部では、入会金・終身会費収入は学生数の減少により減額計上し、さらに既卒者分も最近の実数に合わせ減額計上しています。臨時会費収入も懇親会や同窓会の会費減額により減額計上し、リサイクル募金収入も買取額が低くなったことで減額計上しています。

支出の部では、事業費支出を減額計上し、旅費・交通費支出はオンラインやハイブリッド会議を取り入れることで減額計上した一方、印刷代支出や郵送料支出は業者の値上げのため増額計上しています。また名簿一元化管理費が 25 万円（大学からの依頼で、個人情報管理者の人件費を 4 学部同窓会で分割した額）と昨年度より 10 万円増額計上しています。さらに京都支部設立関連費が 2023 年度内に発生する可能性があり、予想額を予備費に組み込み、増額計上しています。2023 年度は約 195 万円の大きい赤字となる予算となっています。

(4) 2023 年度特別予算

事業費支出として、国際留学奨励金に 50 万円、政法会奨学金に 20 万円を組み込みました。政法会奨学金は、これまでの実績を踏まえ昨年度より 30 万円減額しています。